

業務名

地域警察活動の推進

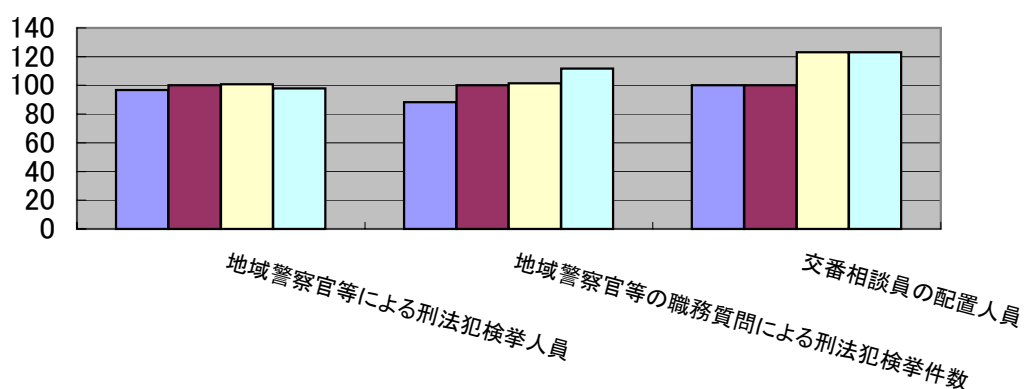
○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
地域警察官等による刑法犯検挙人員	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	3,442	3,561	3,592	3,488	人
地域警察官等の職務質問による刑法犯検挙件数	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	997	1,128	1,144	1,260	件
交番相談員の配置人員	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位
	26	26	32	32	人
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	単位

「地域警察官等」とは、地域警察官及び鉄道警察隊の警察官をいう。

統計の推移

■平成15年 ■平成16年 ■平成17年 ■平成18年



< グラフは、平成16年を100とする指数で表した。 >

○業務の主なコスト

No	事業名	平成18年度事業費(千円)	平成19年度事業費(千円)
1	空き交番対策等推進費	76,541	916
2	地域警察費	3,295	3,035
3	地域警察運営費	242	284
4	犯罪多発地区における治安拠点整備・パトロール等強化事業費	156,666	0
5	犯罪抑止の最前線拠点整備事業費	-	149,577
6	生活安全センターとしての交番機能強化事業費	-	106,855
7			
合 計		236,744	260,667

○平成18年の取組み

- 県民の身近で発生する犯罪の発生状況の分析と街頭活動の効果の検証結果に基づいて、実態に即した効果的なパトロール活動を推進した結果、街頭犯罪及び侵入窃盗を抑止（前年比 - 2,167件、 - 31.4%）することができた。
- 事件・事故に迅速かつ的確に対応することのできる交番等の体制を確保するとともに、併せて、県民の要望が強い「空き交番」の解消を実現するため、地域住民の理解と協力の確保に努めながら「交番・駐在所再編整備計画」を着実に推進した結果、警察庁の指針に基づく「空き交番」を解消した。
- 犯罪等が多発する地区における、住民に身近な治安拠点としての交番の緊急整備を始め、交番の不在時における相談に迅速に対応できる「加入電話不在転送システム」の整備、交番相談員の効果的な配置など、交番等の機能強化と住民サービスの向上に努めるとともに、地域警察官によるパトロール活動を一層強化して、地域の安全と安心の確保に努めた（交番等緊急整備4か所、加入電話不在転送システム整備18か所）。
- 地域における自主防犯組織の活動が活発化している中で、これらの組織に対する交番等からの情報提供や合同防犯パトロールなどの地域安全活動の強化に努めた。

○課題と平成19年の取組み

- 刑法犯認知件数の減少など指数治安は着実に回復しているものの、依然として身近な犯罪が多発するなど、県民の治安に対する不安感は解消されていないことから、引き続き、犯罪発生状況の精緻な分析と街頭活動等の効果の検証を行い、その時々の方情に即したパトロール活動に努めるとともに、職務質問等を強化するなど、犯罪の抑止と検挙活動を推進する。
- 交番相談員の効果的な配置・運用により、交番機能の一層の充実を図るとともに、交番に勤務する地域警察官による街頭活動等の一層の強化を図る。
また、地域住民の理解と協力の確保に努めつつ「交番・駐在所の再編整備」を着実に推進し、効果的な警戒体制と有事即応体制を確立する。
- 犯罪等の被害防止に効果的な地域安全情報を適切に提供するとともに、交番・駐在所と地域住民との連携・協働による地域安全活動を推進するなど、地域と一体となって治安の回復に取り組む。